

日本計算工学会 功績賞を受賞しました（2021/5/19）

テーマ：計算工学、計算力学、CAE、災害シミュレーション

会場：（一社）日本計算工学会 2021 年度定時社員総会・第Ⅱ部表彰式（オンライン）

URL：<https://www.jscs.org/award/index.html>

一般社団法人日本計算工学会では、本学会の運営発展、あるいは計算工学の発展に著しい貢献のあった会員および会員であった者に功績賞を授与しています。2020年度は、当研究所の寺田賢二郎教授（計算安全工学研究分野）が受賞しました。

受賞理由は以下の通りです。

- 第11代会長を務めた他、計算工学講演会や国際交流活動を中心として計算工学会の運営に大きく貢献したこと
- 国際組織（IACM）において要職を務め我が国のプレゼンス向上に努めていること
- 国内外のジャーナルに公表されたマルチスケール解析や破壊シミュレーションに関する研究成果が世界的にも高い評価を受けていること
- 関連する教科書も執筆し計算手法の啓蒙にも努めていること
- マルチスケールCAEソフトの開発を行い実用化にも貢献していること
- 計算工学に関する功績が災害科学・構造工学・土木工学・CAEなど多岐にわたる手法として発展していること

表彰式は、2021年5月19日にオンラインにて開催された、2021年度定時社員総会の第Ⅱ部において行われました。

受賞

寺田賢二郎：2020 年度 功績賞



功績賞（オンライン開催のため会長との記念撮影は中止）

文責：寺田賢二郎（計算安全工学研究分野）